

令和5（2023）年度

事業報告書

社会福祉法人 岡山福社会

目 次

I 2023年 事業報告

II 事業経営

1. 教育保育施設の経営
2. 高齢者介護施設の経営
3. 公益事業の経営
4. 収益事業の経営
6. 社会貢献事業
7. 人材育成事業

III 職員福利厚生制度

IV 理事会及び評議員会

I 2023年度（令和5年度）事業報告

社会福祉事業経営を取り巻く事業環境は、現在の国の財政状況や少子高齢化、人口減少など、様々な課題に直面し、事業経営は特に難しさを増しています。また、社会福祉法人は制度的な特徴からより一段と厳しい経営環境に直面しています。

1、人口減少、人口構造の変化

高齢化社会が進行しており、高齢者向けサービスへの需要が増加しています。これにより介護や福祉サービスの需要が拡大し、事業経営はそれに対応する必要があります。

2、財政的制約

日本の福祉予算は高齢化の進展に伴い、健康保険制度、年金制度、介護保険制度、全てにおいて制度を支える労働人口が減少し続けています。このため現役世代の負担が増大するとともに、医療や介護を受ける側の人達にも自己負担が急激に増加しています。

また、福祉に対する国の支援や補助金が削減されており、福祉事業経営者は、効率的な経営により収益の確保が喫緊の課題となっています。

3、技術の進歩

デジタル技術の進歩により、福祉サービスの提供方法が変化しています。例えば、高齢者の自立のための、健康のデータ解析や福祉ニーズの予測、機能訓練の科学的なアプローチなどです。

4、法的規制の変化

国の規制や法律が変化してきています。例えば、個人情報保護法の厳格化や、福祉サービスの品質基準の見直しなどが挙げられます。

5、地域社会との連携

地域社会との連携がますます重要になっています。地域のニーズに合わせたサービス提供や地域関係機関との連携による支援体制の構築が求められています。

6、多様性と包摂

福祉サービスは、様々な人々のニーズに対応する必要があります。性別、年齢、家族、環境、孤立など、多様性を尊重し、包摂的なサービスの提供が求められています。

7、災害への対応

近年、地球温暖化による気候災害や地震などの災害が多発しています。災害から人命を守り、福祉サービスの継続を図るために、BCP策定や安全計画の策定が義務付けられています。計画に基づく避難訓練や食料、防災用品の備蓄、職員の災害対応能力の向上など、災害に対する福祉事業の役割が増大しています。

これらの要因を考慮しながら、事業経営は、持続可能な経営戦略の策定や、効果的なサービス提供のための取り組みを行ってまいりました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から3年が経過し、感染症分類の第5類に移行されました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、広範かつ分野横断的に多大なものとなったと言え、その影響は、未だに高齢者福祉事業において特に大きく、今後数年間に渡りその影響は続くものと思われまます。

当法人の高齢者介護事業では、ショートステイ zutto・sott ずっと・そっとで、施設内で新型コロナウイルスの発症者が出て経営に多大な影響が出たため、令和5年3月31日

に設開業から5年を持って事業を廃止しました。

デイサービスセンター zutto・sott ずっと・そっとでは、新型コロナウイルス感染症の長期間の感染拡大を受け、令和5年度も利用者の施設利用控えが多数発生したため、利用者数は新型コロナウイルス感染症拡大の前の利用者数は戻らず、稼働率は10ポイント低下した状態が続いています。

生活介護支援施設であるケアプラン zutto・sott ずっと・そっとでは、3名の介護支援専門員を擁し、約100名の高齢者の介護支援を行っています。しかしながら、運営面では収支

赤字が続いており、赤字の原因が介護報酬制度によるもので、事業者の経営努力では改善が見込まれません。そこで、法人全体の事業継続の観点から、令和6年6月30日を持って、事業を廃止いたします。ケアプラン事業は平成23年8月に事業を開始しましたが、3名のケアマネージャーの人件費を捻出する収入は今後も見込めず、やむを得ず事業を廃止するものです。

収益事業の喫茶店事業は、当法人の介護施設利用者、教育保育施設の利用者、地域住民と当法人施設利用者とのコミュニケーションの場として開設しています。喫茶店の採算、維持管理経費を検討し、現在は毎週土曜日のみ営業しています。

当法人の教育保育施設である認可保育所の岡山乳児園、幼保連携型認定こども園の岡山幼保連携型認定こども園では、令和5年度において安定した経営を維持するため、4月の新入園児確保、5月以降の年度途中入園児の積極的な受け入れに努力しました。全国的な少子化や新型コロナウイルス感染症の影響による出生数の大幅な減少により、新潟市でも0歳児の入園児童が大幅に減少しています。近隣の保育施設では、新年度の入園児童数が大きく落ち込んだ施設が多数見られている状況です。

保護者や子どもたちから選ばれる教育保育施設づくりのため、施設整備事業としてショートスティ施設の全面改修を実施し、令和5年10月1日より3歳未満児専用の保育施設として整備しました。従来から保育室が確保できず3歳未満児の入園を制限してきましたが、今後は、保護者の保育ニーズに対応できるものと考えています。

食育の面においては、安全安心な無添加、無農薬食材にこだわった給食提供に取り組みました。新たに、有機栽培野菜農家と年間の栽培と納入の契約を締結し、新潟市の保育施設として唯一のオーガニック給食提供体制に取り組みました。オーガニック給食の評判が口コミで広がりつつあり、4月の新入園や年度途中入園に繋がっています。

教育保育の質の向上の取り組みでは、幼児教育レベル向上のため令和5年度もソニー教育財団主催「ソニー幼児教育支援プログラム」論文に岡山幼保連携型認定こども園は、4年連続で受賞しました。また、岡山乳児園でも初めて受賞することができました。新潟県の受賞園は、法法人の2園のみでした。保護者へ当法人の教育保育施設の幼児教育の客観的なレベルを知っていただくとともに、保育職員の資質向上と幼児教育に対する意欲の醸成を進めていきたいと思えます。

令和5年度の法人各施設の業績について、事業活動計算の決算状況をご説明いたします。

法人全体の令和5年度のサービス活動の収益合計は、515,382千円。前年度比65,478千円の現益、費用合計は514,590千円、前年度比55,421千円の減額。増額差額は、791千円、前年度比10,057千円となりました。サービス活動外増減の部は、経常増減差額3,073千円、前年度比5,165千円増加となりました。特別増減の部では、収益は、497,873千円、費用497,955千円、増減差額-82千円、前年度比73千円マイナス。以上の結果当期活動増減差額3,782千円、前年度比9,614千円減少で、当期活動は黒字額を確保できました。高齢者介護施設での新型コロナウイルス感染症影響によりデイサービスセンター zutto・sott ずっと・そっとでは、利用率の低下から令和4年度に続き大幅赤字を計上、ケアプラン zutto・sott ずっと・そっとも連続的な赤字決算となりましたが、教育保育事業部門の岡山乳児園、岡山幼保連携型認定こども園の収益により、法人全体では黒字計上に繋がりました。

法人各施設の業績について、デイサービスセンター zutto・sott ずっと・そっとでは、新型コロナウイルス感染症の発生の影響を今も受け、利用者の施設利用控えにより、収益がマイナス17,452千円、前年度比マイナス2,126千円となりました。デイサービスセンターの収益改善のためには、高齢者の主たるニーズである、在宅での自立のための機能訓練サービスの提供が重要と考えています。そこで、機能訓練サービス態勢の整備として、高齢者向けのトレーニング機器の導入、機能訓練指導員確保として、令和4年5月に当法人としては、初めて作業療法士1名を採用、令和6年4月に柔道整復師養成校から1名の職員を採用し、職員体制を整え利用者のニーズに即した機能訓練サービスを提供できる施設づくりを通して、新規利用客の獲得並びに、稼働率の向上に取り組み、収益改善に努力したいと考えています。

ケアプラン zutto・sott ずっと・そっとでは、令和年度のサービス活動の収益合計は、15,195千円。前年度比2,865千円の減益、費用合計は20,182千円、前年度比2,130千円の減少。増額差額では、-4,987千円、前年度比734円の減益。前年度比から収益は更に減

少、人件費は微減となり減益の赤字決算となりました。経営改善が見込めないため、令和6年6月30日を持って事業を廃止いたします。

収益事業の喫茶店事業について、令和5年度のサービス活動の収益合計は、1,144千円。前年度比534千円の減益、費用合計は、2,067千円、前年度比1,916千円の減少。増額差額では、-923千円、前年度比1,381円の赤字縮小。現在は、毎週土曜日1日みの開店し、当法人の高齢者介護事業所の利用者や地域子育て支援センター利用者や、地域住民との関係づくりや、地域の方々の居場所づくりの公益的事業として事業を継続してまいります。

当法人の乳幼児の教育保育事業につきまして、認可保育所 岡山乳児園は、令和5年度サービス活動の収益合計は、200,353千円。前年度比7,778千円の大幅減収、定員を75名

から90名に変更により保育単価の減少が大きく影響しました。費用合計は175,967千円、前年度比2,029千円の増額。増額差額では、24,385千円、前年度比9,808千円の前年度から大幅な減益の決算となりました。当期活動増減差額は、1,109千円で前年度比12,380千円の大幅減益となりました。保育環境の整備に投資するとともに、保護者のニーズに沿ったサービス提供、また、保育の質の向上のため、高い専門能力と意欲を持った保育士確保のため、保育士の処遇や賃金の引き上げを進めて、保育事業の安定化を図って参ります。幼保連携型認定こども園 岡山幼保連携型認定こども園は、令和5年度のサービス活動の

収益合計は、208,538 千円。前年度比 19,060 千円の大幅増益、費用合計は、204,880 千円、前年度比 25,167 千円の増額。当期活動増額差額は 12,119 千円、前年度比 6,303 千円の前年度比から増益の決算となりました。増益の主な要因は、4 月の新年度入園児の募集のための園舎見学会に力を注ぎ、また、年度途中の園児の入園を積極的に進めたことが功を奏し、増益に繋がったものと考えています。

令和 6 年度については、ケアプランの事業廃止により、業績へのマイナス影響要因を除きます。また、令和 5 年 10 月から共用開始した、岡山幼保連携型認定こども園の 3 歳未満児専用の保育施設のメリットを最大限に活用して岡山こども園の在園児を 250 名まで受け入れ、3 歳未満児の比率を改善し、園児 1 人当たり保育委託単価を上げることで収益率に取り組みます。岡山乳児園も、4 月在園児数 85 名から年度内に 25 名の途中入園を目標として、収益の向上を図ります。

施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様、また、法人役員、評議員の皆様から様々なご支援を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

社会福祉法人 岡山福祉会
理事長 齊藤勝栄

令和 5（2023）年度 施設利用状況報告

2024 年 3 月 31 日現在

部門名	種別	施設名	定員	年間利用者数
社会福祉事業	認可保育所	岡山乳児園	90 名	別表
	認定こども園	岡山幼保連携型認定こども園	175 名	別表
		地域子育て支援センターMere	—	
	老人デイサービスセンター	デイサービスセンター-zutto・sotto ずっと・そっと	41 名	別表
公益事業	居宅介護支援事業所	ケアプラン zutto・sotto ずっと・そっと	—	
収益事業	喫茶店	甘味処一茎草庵	—	

【 ケアプラン zutto・sotto ずっと・そっと 】

別紙、添付資料

【地域子育て支援センターmere】

別紙、添付資料

II 事業経営

1, 認可保育所の経営

施設名 岡山乳児園 定員 90名

【在園児数実績】

◆ 令和6年3月31日 在園児数 … 113名

【重点項目】

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育に取り組むことが出来ました。
- ・保育の理念をもとに、保育所保育指針に沿った保育目標をたて、その達成に努めました。
- ・保育園の安全対策について、特に感染症流行を受けて感染予防、感染拡大防止体制の整備と見直しを行い、園児の安心、安全に努めました。

◆ 公益的事業の取組み

- ・新型コロナウイルス感染症が感染症第5類に移行したことにより、園の活動も新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻りつつあります。様々な経済活動が進む一方、保育の世界では、児童の虐待や育児困難家庭の増加が広がっており、園では要配慮児への対応に関係機関と連携を取りながら努めました。
- ・今年度も実施した緊急一時預かり事業利用は、感染症流行の影響は多少ありましたが、好評を得ています

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・保育士の確保につとめ、派遣保育士なども活用し、保育人材の充実により保育の質を高めるよう推進いたしました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、外部研修やセミナー参加ができませんでしたが、倫理教育、研修の充実を図り、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材の育成に取り組みました。
- ・パワハラ、セクハラ、いじめなどの発生防止に最大限努力し、安心して働ける職場づくりを進めました。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・園児の年度途中入所を積極的に進め、安定した園児数の確保を進めました。
- ・安定した運営に向けて、職員の効率的な業務の維持と適切な職員配置を行いました。
- ・経費の見直し、経費の節減・節約を心掛け無駄な経費削減に努めました。

2, 幼保連携型認定こども園の経営

施設名 岡山幼保連携型認定こども園 定員 175名

【在園児実績】

◆ 令和6月31日 在園児数 … 200名

【重点項目】 ◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重し、専門知識を活かした保育を展開し、子どもの生きぬく力を育てるため、体育あそび、リズム運動、チャアダンス、リトミックなどの運動機能成長の取り組み、ピアノ、英語あそびなどの情操教育に取り組みました。
- ・幼児教育のより一層の充実に努め、特に、幼児の非認知能力を育むため、ソニー教育財団の論文募集に積極的に取り組み、施設の教育スキルの向上を推進いたしました。
- ・遊びの中での育ちあいを大切に子どもたちが日々感動したり、驚きや発見に出会えるよう、保育内容の充実・園庭やビオトープ、図書館の機能の充実など保育環境の充実を図りました。
- ・利用者の安心・安全を守るために非常災害に対する実効性のある消防訓練、非難訓練の実施を行いました。
- ・施設設備の老朽化に伴い、随時、改修等工事を行い、子どもの安心・安全を確保し快適に過ごせるよう設備の改修を実施いたしました。

◆ 公益的事業の取り組み

- ・地域子育て支援の拠点として、感染防止を行いながら育児相談や育児講座等を実施し、育児情報を発信いたしました。
- ・延長保育事業、緊急一時預かり事業を実施。
- ・地域子育て支援センターMereは、地域子育て支援の拠点として、地域の様々な組織との連携・協働を図りながら、子育て支援の取り組みを実施いたしました。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・保育士確保につとめ、保育人材の充実により保育の質を高めるよう推進いたしました。
- ・教育保育指導計画に基づき、園児の倫理教育、科学する心を育み、また、認知能力と併せて非認知能力の向上のための取り組みを実施いたしました。
- ・職員がお互いを認め合える、安心・安全で働きやすい職場を目指し、職員の定着・仕事のやりがいに繋げるため、時間外残業の削減や積極的な有給休暇の取得の奨励を行いました。
- ・パワハラ、セクハラ、いじめなどの発生防止に最大限努力し、安心して働ける職場づくりを進めました。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・園児の年度途中入所を積極的に進め、安定した園児数を確保し、収益向上を目指しました。
- ・経費の見直し、節減・節約を心掛け無駄な経費削減に努めました。

2.高齢者介護施設の経営

老人デイサービスセンター、居宅介護支援事業所を経営いたしました。

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の人権に配慮しながら、その有する能力に応じた、自己決定に基づく日常生活を営むことが出来るように介護・支援しました。
- ・利用者の生活環境改善のため、物品の購入や修繕を行い快適な生活空間づくりに努めました。特に新型コロナウイルス感染症予防に関する物品の購入に注力しました。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、防災マニュアル、災害時におけるBCP（事業継続計画）の随時見直しを行い防災訓練や地域防災に活かしました。特に新型コロナウイルス感染症の防止、発生時の対応を策定いたしました。

◆ 地域社会への取組み

- ・各施設が関係機関と協力しながら、介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう介護・医療・福祉を一体で提供することにより、地域の方の安心感につながるような拠点施設としての役割を果たすべく努めましたが、今年度は、前年度に続き新型コロナウイルス感染症の感染状況により、十分な取組みが困難でした。次年度は新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、地域社会への公益的な取組みを実施します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・新規職員確保のため、新型コロナウイルス感染症の予防に努めつつ、実習生を出来る限り受け入れました。施設見学についても積極的に受け入れ、丁寧に対応することで就職へ繋がるよう働きかけました。
- ・令和6年4月1日付けで柔道整復師養成校の新卒者1名を正規職員として採用内定を出しました。令和6年度の機能訓練サービスの充実に取り組みました
- ・コロナ禍において安心して働けるよう、感染症予防用備品の設置等の対策を実施しました。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・新型コロナウイルス感染症により利用控え等がある中、職員一同、感染症予防対策に取り組みコストの削減や業務の効率化を通して、法人全体で業務改善に多角的に取り組み、安心・安全の運営、及び健全経営を目指しました。
- ・不要不急な物品の購入を控えコスト削減に取り組みました。

令和5年度（2023）年度 事業報告 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障がある方に、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

施設名 「デイサービスセンターzutto・sotto ずっと・ずっと」

定員 41名

【事業実績】

施設平均利用率 74.5%

延べ利用者総数 9,535名

開所日数×定員 11,288名

【重点項目】

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・機能訓練機能を強化し、利用者の自立した生活に繋がります。
- ・令和6年4月1日付けで柔道整復師養成校の新卒者1名を正規職員として採用内定を出しました。令和6年度の機能訓練サービスの充実に取り組みました
- ・音楽療法、体操、回想法など多様な、機能訓練機能を強化し、利用者の生活自立に繋がりました。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・稼働率85%を目指し、安定した介護報酬の収入を図りました。
- ・機能訓練加算による収入を図りため、人材の確保、機能訓練の態勢づくりを進めました。
- ・職員配置、勤務シフトの適正化を図り、生産性の向上とともに、人件費の抑制を図りました。
- ・電気料金、ガス料金、上下水道料金の高騰に伴い、適正な施設環境の維持より、経費削減を進めました。

令和5（2023）年度 事業報告 居宅介護支援事業所

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネージャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。

施設名 ケアプラン zutto・sotto ずっと・ずっと

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者に寄り添った、ケアプランの作成を推進いたしました。
- ・最新のファックス複合機を導入し、ケアプラン業務のIT化を進め、業務の効率化に取り組みました。
- ・迅速なケアプラン計画作成、関係機関とのスムーズな情報交換により、施設の信頼性の向上に努めました。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・アケマネージャー1名当たり40名の利用者獲得を目指し、安定した介護報酬の収入を図りました。

令和5（2023）年度 事業報告 収益事業 喫茶店事業

施設名 甘味処一茎草庵

◆ 利用者サービスの充実

- ・地域の高齢者介護施設の利用者の受け入れ態勢を強化いたしました。
- ・喫茶店事業により、施設利用者や地域住民の人間関係の構築や自立した生活に繋げるよう、喫茶店利用のチラシの郵送など、情報発信を実施いたしました。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・売上増加を目指し、どら焼き、大判焼き販売など安定した収入を上げるべく図りました。
- ・電気料金、ガス料金、上下水道料金の高騰に伴い、適正な施設環境の維持より、経費削減に努めました。
- ・メニューを絞り込み、食材の廃棄ロスの減少に努め、経費削減に取り組みました。

3. 社会貢献事業

地域交流事業 デイサービスセンター zutto・sotto ずっと・そっと、地域子育て支援センターMere

主な活動	主な会場	開催	講師	参加人数
音楽療法	交流センター	月2回程度	新田音楽療法士（業務委託）	10名
リトミック	交流センター	月1回程度	新田音楽療法士（業務委託）	10名
チェアダンス	交流センター	月2回程度	若月チェアダンス指導員（法人職員）	10名
英語であそぼ		月2回程度	川浪英語専任講師（法人職員）	10名
離乳食講座	交流センター	月5回程度	小林管理栄養士（法人職員）	30名

4. 人材育成事業

1. 各種の研修会、セミナー受講の推進

実績 職員の業務に関わる知識と技能向上を目的に、デイサービスセンターでは、機能訓練技能向上のため兵庫県の(株)アシックスストライアルサービスの機能訓練特化型デイサービスセンターに出向き研修を実施しました。

教育保育部門では、園の加盟団体主催の研究大会に職員が参加いたしました。

目的 職員の業務の専門性の向上と、人材の育成を目的としています。

対象 法人職員（正規職員）

III 職員福利厚生制度ならびに職員研修制度

1. 人間ドック健診の推進

- ・人間ドックを受診する際、その費用の一部を助成しました。
- ・婦人科検診の実施 35歳以上の女性職員（社会保険加入）が婦人科検診を受診する際、その費用を助成しました。

2. 福利厚生センター事業の利用

- ・社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業（ソウェルクラブ）に加入し、職員の福利厚生の向上を図りました。

- ・新潟市勤労者サービスセンター福利厚生事業（ニピィ）に加入し、職員の福利厚生の向上を図りました。

IV 理事会及び評議員会

1, 理事会

開催	主要議案
2023 月 5月	前年度事業報告、決算報告承認
2023 月 6月	理事長の選任
2023 月 7月	ショートステイ zutto・sotto ずっと・そっと施設建物の、岡山幼保連携型認定こども園の教育保育施設への転用に伴う、施設改修整備事業実施の内容、並びに、承認について他
2024 年 2月	補正予算承認
2024 年 3月	次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

2, 評議員会

開催	主要議案
2023 月 6月 14日	決算報告承認、役員選任、定款変更
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

3, 理事・監事・評議員・評議員選任・解任委員会委員

理事長 齊藤 勝栄
 業務執行理事 齊藤 陽平
 理事 近藤 敏視
 古賀 かおり
 飯島 菜津恵
 吉澤 明
 監事 大竹 敏晴
 伊藤 修
 評議員 小荒谷 勝
 石川 竜太
 田中 洸次
 堀 敏雄
 内山 晶
 高尾 英明
 関 武

評議員選任解任委員会委員

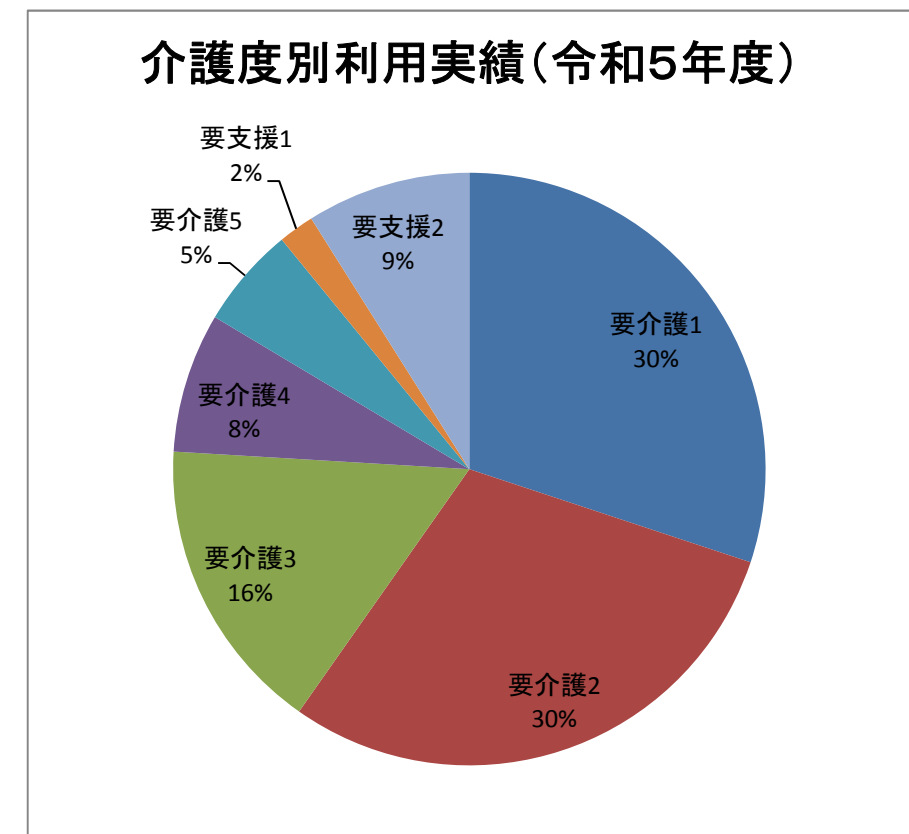
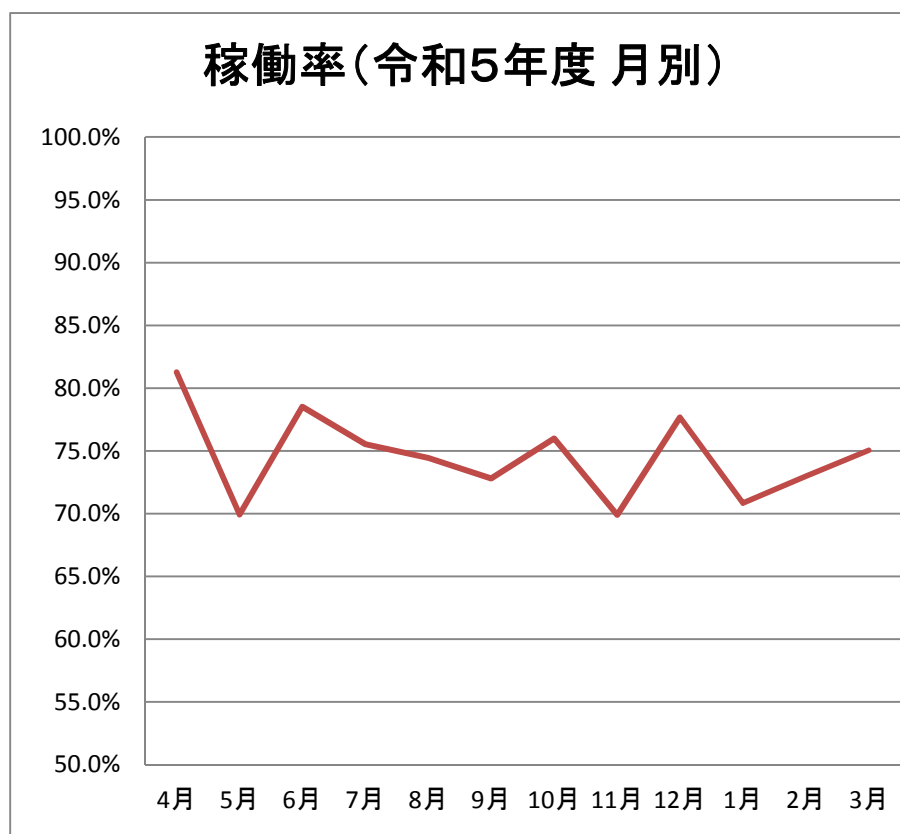
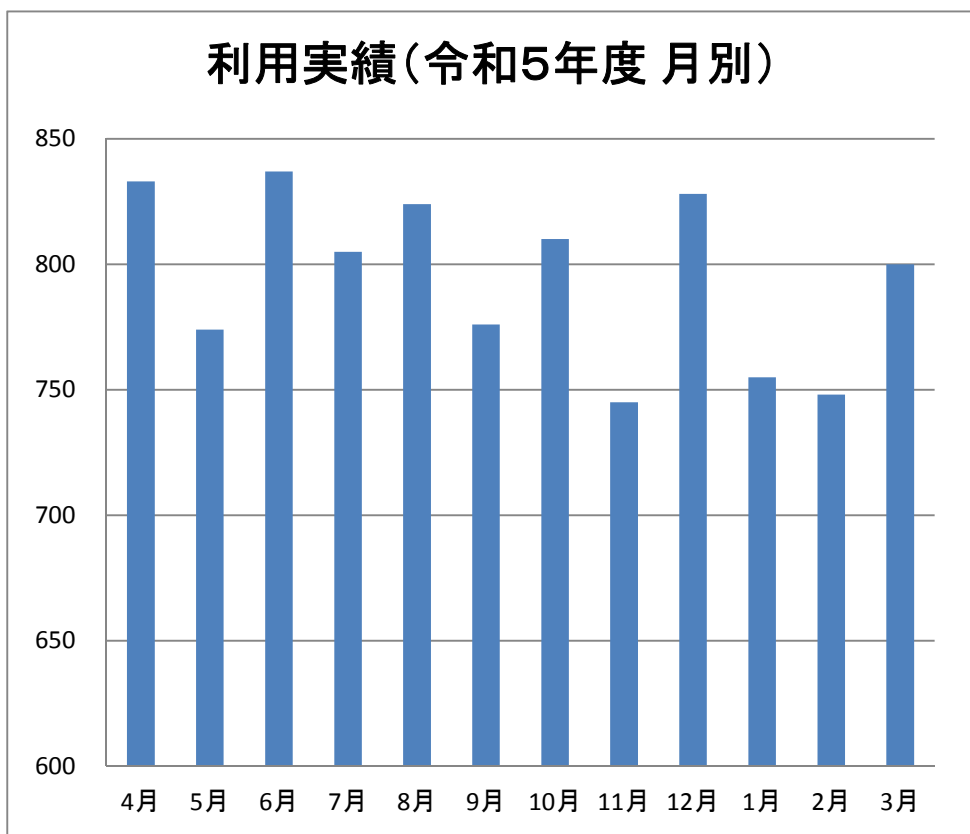
永野 道雄
大竹 敏晴
坂井 舞子

利用定員	41名	目標稼働率	85.0%
------	-----	-------	-------

デイサービスセンター-zutto・sotto ずっと・そっと 令和5年度 営業実績表

対象年	2023年度
-----	--------

利用実績人数				予約キャンセル				利用実績												
月別利用実績				キャンセル理由内訳				利用 キャンセル率	稼働率	介護度別利用実績							利用実績	稼働率	目標利用人数	目標対比利用 人数
月	営業日数	利用予定	利用実績	私用	入院	ショート利用	計			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1	要支援2				
4月	25日	918	833	89	7	0	96	10.5%	81.3%	220	266	139	49	51	15	96	833	81.3%	871	▲38
5月	27日	995	774	227	2	3	232	23.3%	69.9%	216	231	122	55	50	12	66	1,607	75.4%	1,812	▲205
6月	26日	957	837	106	33	3	142	14.8%	78.5%	257	251	154	53	29	19	72	2,444	76.4%	2,718	▲274
7月	26日	968	805	86	70	0	156	16.1%	75.5%	260	217	142	53	8	19	80	3,249	76.2%	3,624	▲375
8月	27日	994	824	113	39	8	160	16.1%	74.4%	258	259	151	49	10	15	81	4,073	75.8%	4,565	▲492
9月	26日	935	776	119	51	0	170	18.2%	72.8%	223	259	142	44	14	16	77	4,849	75.3%	5,471	▲622
10月	26日	927	810	108	65	0	173	18.7%	76.0%	238	263	133	42	49	16	69	5,659	75.4%	6,378	▲719
11月	26日	931	745	91	27	0	118	12.7%	69.9%	238	215	106	63	56	15	53	6,404	74.7%	7,284	▲880
12月	26日	928	828	143	39	0	182	19.6%	77.7%	257	221	117	75	68	21	65	7,232	75.1%	8,190	▲958
1月	26日	933	755	154	28	0	182	19.5%	70.8%	222	197	107	87	55	15	64	7,987	74.6%	9,096	▲1,109
2月	25日	879	748	132	4	0	136	15.5%	73.0%	215	196	110	82	70	9	59	8,735	74.5%	9,967	▲1,232
3月	26日	923	800	123	17	0	140	15.2%	75.0%	245	231	111	70	63	12	67	9,535	74.5%	10,873	▲1,338
計	312	11,288	9,535	1,491	382	14	1,887	16.7%	74.5%	2,849	2,806	1,534	722	523	184	849	9,535	74.5%	10,873	▲1,338



令和5年度 ケアプラン zutto・sotto ずっと・そっと 事業実績

取り扱い件数					
	介護度区分	吉澤所長	長谷川副所長	中村ケアマネジャー	合計
令和5年 4月~9月	要支援1・2	69	78	55	202
	要介護1・2	127	102	94	323
	要介護3・4・5	34	50	39	123
	合計	230	230	188	648
令和5年 10月~令和 6年3月	要支援1・2	62	77	75	214
	要介護1・2	92	93	95	280
	要介護3・4・5	54	48	37	139
	合計	208	218	207	633
年間合計		438	448	395	1281

取り扱い件数	
年間合計	
要支援1・2	416
要介護1・2	603
要介護3・4・5	262
合計	1,281

事業収入					
	介護度区分	吉澤所長	長谷川副所長	中村ケアマネジャー	合計
令和5年 4月~9月	要支援1・2	277,587	313,794	221,265	812,646
	要介護1・2	1,395,095	1,120,470	1,032,590	3,548,155
	要介護3・4・5	485,282	713,650	556,647	1,755,579
	特定加算Ⅲ	507,794	479,408	419,482	1,406,684
	初回加他	32,672	19,399	14,294	66,365
	認定調査	39,440	69,020	24,650	133,110
	合計	2,737,870	2,715,741	2,268,928	7,722,539
令和5年 10月~令和 6年3月	要支援1・2	249,426	309,771	301,725	860,922
	要介護1・2	992,772	1,003,563	1,025,145	3,021,480
	要介護3・4・5	756,972	672,864	518,666	1,948,502
	特定加算Ⅲ	460,484	444,714	416,328	1,321,526
	初回加他	29,609	23,483	13,273	66,365
	認定調査	54,230	69,020	24,650	147,900
	合計	2,543,493	2,523,415	2,299,787	7,366,695
年間合計		5,281,363	5,239,156	4,568,715	15,089,234

事業収入	
年間合計	
要支援1・2	1,673,568
要介護1・2	6,569,635
要介護3・4・5	3,704,081
特定加算Ⅲ	2,728,210
初回加他	132,730
認定調査	281,010
合計	15,089,234

令和5年度 地域子育て支援センターMère

事業実績（開所日数及び利用人数）

月	開所日数 (日)	来所人数（人）		
		子ども	保護者	合計
4月	20	81	79	160
5月	18	66	64	130
6月	22	80	76	156
7月	20	84	78	162
8月	22	89	76	165
9月	20	83	78	161
10月	21	93	84	177
11月	20	128	113	241
12月	20	106	88	194
1月	19	107	89	196
2月	19	150	135	285
3月	20	131	112	243
累計	241	1,198	1,072	2,270
月平均	20.1	99.8	89.3	189.2
1日平均	—	5.0	4.4	9.4